

「大型施設を有する公園の今後のあり方検討」について（報告）

1 概 要

到津の森公園の観覧車等及び志井公園の志井ファミリープールについて、今後のあり方を検討するため、下記の調査を実施した。

【主な調査項目】

調査概要	調査期間	主な調査項目
基礎調査	H30.8～ H31.3	施設の現状把握（施設の設置年等）
		各施設の利用状況及び収入、老朽化の度合い
		改修にかかる費用※観覧車及びプールを対象
マーケット サウンディング調査	R1.9～ (実施中)	民間活力の活用の可能性の検討 民間事業者の参入の意向等についての調査

2 到津の森公園

(1) 基礎調査の結果

ア 現状把握（施設設置年）

観覧車：昭和 63 年、ミニモノレール：昭和 53 年、
メリーゴーラウンド：昭和 48 年、子ども汽車：昭和 43 年

イ 利用状況及び収入（平成 28 年度）

利用者数（観覧車、ミニモノレール等）：約 40 万人、収入：約 6 千万円

ウ 施設の老朽化の度合い

観覧車など遊具全般は、旧到津遊園から引き継いだ施設で、観覧車は、安全確保のため、平成 29 年 1 月から運転を停止している。観覧車は製作会社が既になく、交換部品の調達が困難で、改修を行わないと再稼働は困難な状況である。

エ 観覧車の改修にかかる費用

同規模施設新設：約 8 億 5 千万円（撤去費含む）
既存施設の改修：約 1 億 2 千万円

オ その他の課題

公園南側のエントランスは、道路から高低差があり、公園入口が奥まっているため、利用者にとってわかりにくいことから、園のエントランスとしてふさわしい空間づくりが必要である。

また、施設整備にあたっては、民間活力導入の検討が必要である。

(2) マーケットサウンディング調査

公園の顔となる南側エントランスについて、さらなる魅力向上を図るため、エントランスの再整備や施設整備に関するアイデア、提案を募集した。

事項	日程等	参加事業者数等
募集期間	令和元年9月12日～10月24日	-
事業説明会	令和元年10月1日	6者
個別対話	令和元年11月～（2回実施）	1者1提案
主な提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・南側エントランスの一部に便益施設（飲食施設等）を導入 ・便益施設等の売上の一部を施設整備等の費用に還元 など 	

（3）今後の対応

- ア 観覧車については、公園のシンボルとなる施設であることから、令和元年度に、（公財）北九州市どうぶつ公園協会と遊具を管理する民間事業者から、改修についての申し出があり、現在再稼働に向けて協議を行っている。
- イ 南側エントランスの改修については、民間事業者からの提案内容を踏まえ、公募設置管理制度（Park-PFI）などを活用し、事業化に向けた検討を行う。

3 志井公園（志井ファミリープール）

（1）基礎調査の結果

ア 現状把握（施設設置年）

志井ファミリープール：昭和60年（波のプール：平成5年）

イ 利用状況及び収入（平成29年度）

利用者数（7月上旬～9月上旬）：約10万人、収入：約8千万円

ウ 施設の老朽化の度合い

波のプールの造波装置は耐用年数を過ぎ、最大出力を発揮できない状況で、交換部品の調達も困難であるため、設備の更新が必要な状況である。

エ プールの改修にかかる費用

同規模施設新設：約42億円（撤去費含む）

既存施設の改修：約6億6千万円

オ その他の課題

民間活力を活用し、年間を通じて利用できる施設の導入の検討や、不足する駐車場の確保が必要である。

（2）マーケットサウンディング調査

施設のリニューアルに向けたアイデア、提案を募集した。

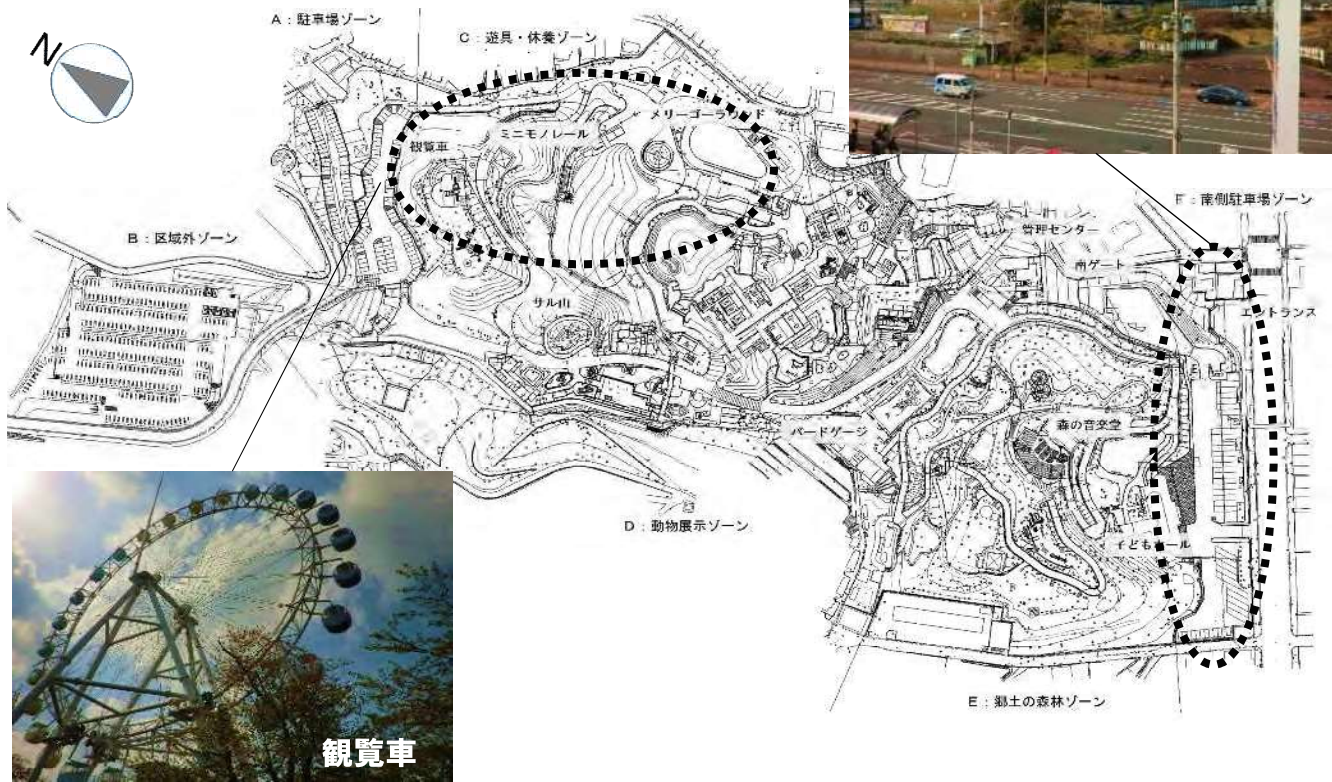
事項	日程等	参加事業者数
募集期間	令和元年11月11日～12月24日	-
事業説明会	令和元年11月27日	6者
個別対話	令和2年1月～（実施中）	2者2提案
主な提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・個別対話を実施中 	

（3）今後の対応

今後は、民間事業者からの提案内容を踏まえ、事業手法や整備内容等について、検討を行う。

到津の森公園平面図

【参考資料】



志井公園(志井ファミリープール)平面図

